

1 単元名 Unit 8 ナンシーに会いに (New Horizon English Course1)

2 指導目標

- ・疑問詞を含む疑問文や、所有格、目的格を使い、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・自分の伝えたいことや事実を正しい語順で表現することができる。
(外国語表現の能力)
- ・疑問詞や代名詞を含んだ対話文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。
(外国語理解の能力)
- ・疑問詞を含む疑問文、文構造や語法について、語順の知識を身に付けている。
(言語や文化に関する知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元観

この単元は、場所を尋ねる **where** や誰のものかを尋ねる **whose**、代名詞の所有格、目的格などを用いた場面設定がなされている。これまで、自己紹介で自分のことを伝える表現や話し相手への命令文、**Let's** の表現、三単現の **s** を学んできたことに加えて、さらに会話の幅を広げることができる。人称代名詞の格の変化は英語の基礎であり、日常生活においてもよく使われる表現であるので、表現活動を通して定着を図りたい。主格と目的格の特徴を確認することで、語順への理解が深まることを期待できる。

(2) 生徒の実態(第1学年*組 男子*人 女子*人 計*人, 平成*年10月8日調査)

<p>実態調査結果</p> <p>「自己紹介文」を、5文、できるだけ長く書きなさい。</p> <p>・5文 *人 ・4文 *人 ・3文 *人 ・2文 *人 ・1文 *人 ・0文 *人</p> <p>(1)主語と動詞句のつながりにおいて語順の間違いや単語の欠落のある生徒数 *人</p> <p>(2)前置詞句において語順の間違いや単語の欠落のある生徒数 *人</p> <p>(3)語順の間違いや単語の欠落の内容</p> <p>・be 動詞の抜け (*人) ・主語と動詞句のつながり(*人) ・be 動詞 play 二重動詞(*人)</p> <p>・一般動詞の抜け(*人) ・前置詞の抜け(*人) ・前置詞句の語順間違い(*人)</p> <p>・前置詞句の表現の間違い(*人) ・前置詞の重なり(*人)</p> <p>意識調査結果</p> <p>「苦手と感じている活動は何ですか。」</p> <p>・聞くこと *人 ・話すこと *人 ・読むこと *人 ・書くこと *人</p> <p>「伸ばしたいことは何ですか。」</p> <p>聞くこと *人 話すこと *人 読むこと *人 書くこと *人</p>
--

本学級の生徒は、素直な生徒が多く、授業に意欲的に取り組んでいる。ペアワークやグループ活動においては、自分の役割を考え、話し合う様子が見られる。実態調査実施までに生徒が学習してきた文構造と語法は、**be** 動詞を活用した文、一般動詞を活用した文、複数形の活用、疑問詞を用いた文である。このうち自己紹介として疑問詞を除く3つを活用して英作文を作成した。その結果、*人に、語順の間違いや単語の欠落が見られた。このことから、語と語のつながりの定着に課題があると考えられる。意識調査からは、書くことを苦手としている生徒が最も多く、反面、書くことを伸ばしたいという生徒が多くいることが分かった。文構造の基本である[主語+動詞]や句の中での語と語のつながり、つまり、語順を理解して文を書く力を育てていくことが大切であると考えられる。

(3) 指導観

扱う語彙数が増加し、疑問詞を含む疑問文や命令文等の新しい文構造、三単現の **s** の語法など、覚えることが増えてきている。このことにより、語と語のつながりを捉えさせることが大切である。スラッシュリズニングで語順に気付かせ、スキミングで語順を確認させる。そしてディクトグロスで話し合いながら正しい文を理解させ、ライティングで正しい語順の定着を図りたい。

また、語順を理解させることについては、インプット段階から気付かせることができれば、生徒の苦手とするライティングにおける書く力の向上に効果があると考えられる。リスニングを通して語順に気付き、スピーキングやライティングにつなげることで語順の理解を高め、語順を理解して文を書く力を育てていきたいと考える。

4 指導と評価の計画（6時間扱い）

時	学習の内容	評価規準	評価の観点			
			関	表	理	言
1	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞と前置詞を理解する活動 ・疑問詞と前置詞を含む本文内容を理解する活動 ・前置詞句の語順を捉えるライティング活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・前置詞句の語順に気付き，正しく理解することができる。 ・疑問詞と前置詞句を含む本文内容を理解することができる。 			○	○
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 whereと前置詞句を含む英文を聞き，語順に気付く活動 ・疑問詞 whereやwhatを含む会話を聞き，[主語＋動詞]や前置詞句をの語順を確認する活動 ・新たな英文でディクトグロスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・whereや whatを含む会話文で，[主語＋動詞]を的確にとらえることができる。 ・正しい前置詞句を作ることができる。 		○		○
3	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 whose＋名詞と所有格を含む英文を聞き，語順に気付く活動 ・疑問詞 whose＋名詞を含む会話を聞き，[主語＋動詞]や前置詞句をの語順を確認する活動 ・新たな英文でディクトグロスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・whose＋名詞や所有格を含む会話文で，[主語＋動詞]を的確にとらえることができる。 ・ペアワークやグループワークに意欲的に参加している。 	○			○
4	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語や代名詞の目的語を含む英文を聞き，語順に気付く活動 ・指示語や代名詞の目的語を含む会話を聞き，[主語＋動詞]や前置詞句をの語順を確認する活動 ・新たな英文でディクトグロスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語や代名詞の目的語を含む会話文で，[主語＋動詞]を的確にとらえることができる。 ・前置詞句を含む正しい文を作ることができる。 		○		○
5	<ul style="list-style-type: none"> ・代名詞を含む英文を聞き，語順に気付く活動 ・代名詞の目的語を含む会話を聞き，[主語＋動詞]や前置詞句をの語順を確認する活動 ・新たな英文でディクトグロスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代名詞を含む会話文で，[主語＋動詞]を的確にとらえることができる。 ・ペアワークやグループワークに意欲的に参加している。 ・代名詞を含む本文内容を理解することができる。 	○		○	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・Where, Whose, 代名詞等の内容を表す絵を見て，語順に注意して，正しい英文を書く活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・語順を理解して，英文を書くことができる。 		○		

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ whereや whatを含む会話文で，[主語＋動詞]を的確に捉えることができる。
- ・ 正しい前置詞句を作ることができる。

(2) 準備・資料

スキヤニングワークシート，ディクトグロスシート，振り返りカード

(3) 展開

評 は評価 ○は個への対応

活動内容	指導上の留意点及び評価
<p>1 英語で挨拶をする。</p> <p>2 Q & A を行う。</p> <p>3 本時の学習内容と目標を確認する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Be conscious of word order.</p> <p>4 英語と日本語の語順の違いに気付く過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語順に気付く活動を行う。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Where do you / live / ? I / live / in a forest /.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スラッシュリスニングを行い、英語の語順に気付く。 <p><予想される発言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・liveやin のところからまとまりが始まる。 ・疑問文は具体的な場所が抜けている。 ・日本語と語順が違う 等 <p>5 [主語＋動詞] と前置詞句の語順を確認する過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話文を聞いて、聞き取る箇所を書き、語順を確認する。(スキヤニング) ・抜けている箇所の表現を想起しながら、会話文の練習を行い、語順の確認をする。 <p>6 [主語＋動詞] と前置詞句の語順を理解する過程 (ディクトグロス)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Taro : Where does your father go on Sunday? Toshi: My father works at his office. Taro : Oh, really? He is busy. What does your father do on Sundays? Taka : He watches TV in the living room.</p> <p>(1) 文章の内容を聞き、メモを取る活動を行う。</p> <p>(2) メモを手掛かりに、英文を作成する活動を行う。</p> <p>(3) グループで話し合い、語順等の修正を行う活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語順等の間違いに気付き、修正・追加しながら、正しい英文を書く。 <p>(4) 解答を見て、英文を確認し、語順を理解する。</p> <p>7 本時で気付いたことを振り返り、学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードで気付いたことを確認する。 ・気付いたことを全体で共有する。 <p>8 英語で挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をし、既習の会話表現を復習する。 ・リスニングを行う雰囲気を作る。 ・本時の学習内容と目標を伝えることにより、見通しをもたせて学習に取り組ませる。 ・正しく文を書くことが目標であると伝えることにより、語順を理解させたい。 ・2回読んで、内容が聞きとれたかを確認する。 ○聞き取りにつまずきのある生徒には単語をランダムに並べたヒントを出す。 ○スラッシュのジェスチャーの後にくる単語を聞き間違えている生徒には、できている生徒に区切って発音させ、聞き取ってみよう挑戦させる。 ・リピート時点でジェスチャーをすることで記憶が増すことを伝える。 ・お互いにジェスチャーを見合い、気付きを共有する。 ・スキヤニングワークシートを配布時に、() 内の表現を周囲の単語から推測してみるよう告げる。 ・読まれた文章と書かれた文章の内容を照らし合わせながら、() 中の情報を聞き取り書くように伝える。その際、() 内の語順に注意するよう伝える。 ○単語カードを提示し、書くことに不安のある生徒に対応する。 ・ディクトグロスシートのメモは、単語でも、聞こえたまとまりをカタカナで表記してもよいことを伝える。 ○単語が分からない生徒は、辞書を活用したり、教科書を見たりしてもよいことを伝える。 ・4回聞くうち1回はポーズを入れたもので、書く時間を与える。 ○語順があいまいな生徒には、語順に気付くSGの付いたスラッシュリスニングを行って、語順に気付かせる。 ・メモから英文を作成する際、語順に注意しながら書くよう伝える。 ○上位生徒は、他の表現を使って、内容を表してもよいことを伝える。 ○下位生徒には、単語のヒントやSGのヒントを与え表現を当てはめさせる。 ・共有や修正した部分は、色ペンで書くように指示し、自分の弱点や分かったことを次時のライティングに生かすようえる。 <p>評 ・whereや whatを含む会話文で、[主語＋動詞] を的確にとらえることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい前置詞句を作ることができたか。(ディクトグロスシート) <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で気付いたことを全体で確認し、次時へとつなげる。 ・本時の取組を称賛し、意欲を高める。